

平成 29 年度岩手県中部保健所運営協議会会議録

- 日時：平成 29 年 7 月 4 日（火）18 時 30 分～20 時 10 分
- 場所：花巻市花城町 1-41 花巻地区合同庁舎 2 階第 1・2 会議室
- 出席者：別添委員名簿のとおり 34 名（委員 24 名（うち代理 4 名）、事務局 8 名）
- 傍聴人：3 名（うち報道機関 1 名）
- 会議内容

1 開会（千葉次長）

〈会議成立報告：委員 24 名中 24 名（うち代理 4 名）の出席〉

2 挨拶（柳原保健所長）

本日はお忙しいなか、本協議会に出席いただきありがとうございます。

また、委員の皆様方には日頃からの岩手中部保健医療圏の保健・医療・福祉・環境衛生の分野において、それぞれの立場から予防推進にご尽力いただいていることを、あらためて感謝いたしたいと思えます。

さて、本日の協議会でございますが、昨年度末の協議会でご了解いただいたとおり、今年度の運営方針についてご協議いただきたいと思いますとおるところでございます。

限られた時間ではございますが、忌憚のないご意見、ご質問等をいただき、意見交換等ができればと思えます。

3 委員紹介（千葉次長）

別添委員名簿順に紹介

4 議事

(1) 会長・副会長の選任について

会長に北上市長の高橋敏彦委員、副会長に花巻市医師会長の三浦良雄委員が選任された。

(2) 平成 29 年度運営方針について

資料No. 1 に基づき、事務局から説明を行った。

（説明者：阿部主幹兼管理福祉課長、阿部技術主幹兼保健課長、三浦環境衛生課長）

(2) について、事務局から説明の後、次のとおり協議等が行われた。

○花巻市佐々木副市長

岩手中部医療情報ネットワークは、今後、地域包括ケアを進めていく上で、重要な切り口となる。

市としてもしっかり取組んでいきたい。

中部保健所においてもシステム運用、構築について指導していただきたい。

保健所で実施している各種健康づくりのイベント等で地域の皆さんにネットワークシステムについて周知していてもよろしいのではないかと。

人材確保について、伺いたい。セミナーの参加者には、アンケートをとっているのか。とられているのであれば、地元で働きたい意向等は聞いているのか。そういった意向は、どの位あるものか。

保健医療計画の見直しにあたっては、管内においては複数の病院の新築移転等が予定されているところ、また、今後は医療・介護そして保健の連携が非常に重要になってくること等を念頭に、中部地域の実情を踏まえた計画にしていきたいと思います。なお、介護保

険事業計画は市町が作ることになるわけだが適宜関係する内容については、随時情報提供願いたい。

○遠野市菊池部長

人材育成について、8月に中学生向けセミナーを遠野市で実施との説明であったが、子どもたちへの働きかけも大事だが、むしろ親への働きかけ、周知といったものが必要と思われるのでよろしく願いたい。

献血の推進について、高等学校へ訪問して協力依頼をするとのことだが、県の方からも働きかけをやっていただきたいと思う。

○西和賀町佐々木課長

医療情報ネットワークについて、当町は盛岡、北上、横手の各医療圏にまたがっているという状況にあり、これら医療圏とのネットワークも重要と考えているが、町内の医療と介護の事業所間でのネットワークの構築の必要性も感じているところである。

保健所の健康づくり事業については、当町では、大変活用させていただいており、今後ともよろしく願いたい。

人材育成については、各地域（市町村）の奨学金制度を周知していくこともよいのではないかと。

自殺対策については、町においても課題であるがなかなか進まない状況にある。

○花巻市医師会長

地域包括ケアは、高齢化の進展に伴って、必要な対策である。高齢者が住みなれた場所で安心して暮らせるように、医療と介護の連携を進めて行く必要がある。

在宅医療の需要も高まっており、在宅医療の拠点づくりや認知症ケアパスについて医師会としても強く取組んでいきたい。

○北上市医師会長

人材育成の説明があったが、医療分野のみならず人材は全ての分野で不足している。各分野で人の引っ張りあいである。これらの解決策としては、やはり少子化対策である。保健所では、不妊治療の助成等を行っている（出生全体の5%が不妊治療による出産といわれている。）が、少子化の背景は経済的な問題が大きいことから、医療費や予防接種など、各種給付を手厚くしていく必要がある。

健康増進法の一部改正がなされた。受動喫煙について一般の市民の方への普及啓発を進めていくことも必要ではないかと。

○遠野市医師会長

遠野は、釜石や盛岡医療圏へ通院する方もいるが、医師不足が切羽詰っている状況の住田町から通院される方が増えている。

地域包括ケアはやはり必要性を感じているところ。個別ではうまくはいつているが、トータルで見るとそうでないこともある。県立遠野病院や市と連携しながら対応していきたい。

産業医をしている会社で、長時間労働でメンタル不調になった方が私の面談の前に、盛岡の心療内科を受診したところ、診断書の診療所名に心療内科が標榜されていないことに、東京の本社からそのクリニックではダメとクレームがあり、診断書を書いた先生が大変ご立腹されていた。クリニックの名前に心療内科が掲げていないとダメなのか。

○花巻市歯科医師会長

中部病院との歯科の連携は大変すばらしい。

保健所では、ケアマネ対象の調査を実施とのことだが、医師会でも同様の調査を過去に行った経緯があるが、課題解決には至らなかった。今度の10月の報告では、何らかの方向性が見出せることを期待している。

○北上市歯科医師会長

今年度、在宅の口腔ケアに関する講演会を実施予定である。(保健所委託事業)

市と連携して在宅診療を進めている。ケアマネとの協議も実施しているが、実際の現場とのつながりが薄いと感じているところである。

○遠野市歯科医師会長

今年度、遠野市の保育園で実施予定のフッ化事業について、できれば年中児も加え、年間での実施の拡大が望ましい。また、6箇所とのことだが、次年度はすべての施設で実施していただきたいが、次年度以降の予定等はいかがか。

○花巻市薬剤師会長

家庭内血圧測定の普及について、会としても継続的に協力していきたい。

薬物乱用等のポスターが数枚しか届かないので、昨年度も多めに欲しいと要望したが、先日も薬物乱用のポスターが6枚だけ届き、どのように配布しようかと考えていたところ。もう少しいただければと思う。

○北上薬剤師会長

家庭内血圧測定の普及については、花巻市薬剤師会と同様、協力していきたい。

保健所で実施している高校への出前講座に際し、当会も加えて学校薬剤師を活用していただければと思う。

人材育成については、薬剤師も不足しており、対象に加えていただきたい。

○獣医師会花巻支会長

犬・ねこの不妊手術助成キャンペーンについて御紹介する。野良犬や放置する犬はほとんど見られないが、地域ネコと呼ばれる地域の人たちが共同で飼っているネコがいる。そういったネコにはどうしても不妊手術は必要となる。

○中部病院院長

医療情報ネットワークについては、是非成功させたい。地域包括ケアに向けて患者さんや住民の医療情報を共有することは必須条件である。これを進めるためには保健所にももう少し介入していただきたい。

災害医療に関して、当病院は災害拠点病院となっており、年に一度災害医療訓練を実施している。今年は7月29日(土)に訓練を実施予定である。行政や災害に関する方に出来るだけ多く参加していただきたい。今回、地元、飯豊地区の地域の皆さんにも御参加いただく予定になっている。保健所においても是非、一緒にできるような実践的な訓練を実施いただきたい。

○遠野病院院長

医療情報ネットワークについては、気仙のシステム(未来かなえネット)に加入した。

これは、住田町から通院される患者さんの要請を受けてのこと。中部のネットにも参加

していきたいと思う。遠野は、盛岡へ通院される方も少なくないが、盛岡に関してはネットワークの情報がない。

人材育成は、一発花火ではダメ、卒業後の進路まで見据えて継続して取組んでいって欲しい。

医療安全研修は、年1回約400人が参加しているようだが、できればもう少し回数が増えれば、もっと参加できる方が増えると思うので、検討願いたい。

○いいとよ施設長

300人程いる職員との面談を行う中で、就職1・2年目の認知症のグループホーム勤務者に「うつ」的なものを感じる事が度々ある。認知症との関わりの中で、うつ症状を呈するものか、どのように対処すべきとかと思っている。

○日高見訪問看護リハビリステーション

在宅訪問看護は、大変忙しい状況。先生方も忙しく、いま今の人手が欲しい。人材育成も大事だが、潜在看護師の掘り起こしにも力を入れていただき、研修をして、在宅事業に向けて欲しい。ナースバンクに募集しても人は来ない。

○まつみ

感染症対策等で保健所には大変お世話になっている。

看護師不足には、当施設も困っている。潜在看護師の職場復帰システムを構築して欲しい。

○食品衛生協会

観光客は非常に増えており、食中毒等事故防止に向けた講習会等を実施していただきたい。

○北上市保健推進員

働き盛りの方は、セミナー等には興味があってもなかなか参加できないと思う。勤務後に実施しても難しいと思う。わかりやすいパンフレット等の配布などを考えていただきたい。

○花巻市食生活改善推進員

災害医療コーディネーター5名の配置状況と活動内容について教えていただきたい。

血圧管理では、測定の仕方がわからないという若い人もいるようなので、その指導が大切ではないかと思う。

また、職場の検診でメタボと指摘された場合、なにかペナルティがあるのか。

○遠野市社会福祉協議会

顔の見える関係を大事に活動を行っているところ。

御出席の皆様からのご支援をよろしく願いたい。

○消防

北上地区では、年間3,500件の救急搬送を行っており、中部病院を始め、北上済生会病院、さわうち病院等へ搬送している。

大規模災害は、様々なものが想定される。日頃から顔の見える関係を築き、訓練を重ねておくことが重要と考えている。保健所においても是非訓練を実施していただきたいが、

情報伝達訓練とは、具体的にどのようなものを行うのか。

○警察

自殺や未遂の現場に遭遇することある。色々な相談の電話も受けることがあり、「死にたい」という方には、説得して現場に駆けつけ、場合によっては保健所に連絡させていただくこともある。今後とも連携をお願いしたい。

【事務局】

○阿部管理福祉課長

・人材育成

セミナーのアンケートは取っているが、地元で働きたいかについては聞いていないが、希望職種については聞いており、看護師・理学療法士・栄養士・助産師を希望している学生さんが参加していた。今後は親御さんに向けた奨学金等の情報提供も行っていきたい。

・災害医療対策の推進

災害医療コーディネーターは花巻・北上・遠野の医師会と中部病院、北上済生会病院からそれぞれ推薦をいただき、5名の先生をお願いしている。

コーディネーターの活動内容としては、様々な大規模災害発生時に被災地に必要な医療救護活動を統括することを目的としている。

情報伝達訓練については、県の災害情報システムを活用しながら実施できればと考えている。

○三浦環境衛生課長

・献血の推進

高等学校への訪問については、色々工夫しながら日赤と協力してやっていきたい。

・薬物乱用防止対策の実施

ポスターの件について、本庁へ要望して希望に添えるようにしたい。

高校への普及啓発の件につきましても、学校薬剤師を活用しながらやっていきたい。

・食品衛生の推進

食品衛生の研修事業等についても、要望に答ながら随時やっていきたい。

○阿部保健課長

・受動喫煙防止

出前講座等を活用しながら、市民の方々に広く普及啓発していきたい。

・歯科保健事業

フッ化物洗口についても市と協力しながら広く進めていきたい。

・潜在看護師の育成

看護協会や本庁と連携して進めていきたい。

・出前講座

事業所の要望に応じて可能な限り対応していきたい。

・血压管理の向上

血压測定のやり方、血压管理の大切さを出前講座等を活用しながら、広く普及啓発していきたい。

・生活習慣病対策

健康診断の項目で該当があれば指導があること。職場での対策があるということは、健康に関する意識が高いということではないか。

○千葉次長

・人材育成

医療職の人材確保については、非常に重要な事業と認識していることから、予算の範囲の中でセミナーについては継続的に実施していきたい。参加者へのアンケートを工夫しながら、その後の進路等についてもフォローできればと考えている。少子化対策については、経済的な支援として貸付制度等を活用していただきながら進めていきたい。

○阿部保健課長

・心の健康づくり

メンタルヘルスについては、早めに専門の医療機関等を受診し早期発見に努めていただきたい。なお、保健所でも専門医による心の健康相談事業を開催しており、それを利用願いたい。

○柳原所長

・医療情報ネットワーク

岩手中部の医療情報ネットワークは、巨大なシステムで構想としても大変大きなもの。保健所もこれまでNPO法人の協議会や運営委員会等に参加させていただいていた。引き続き、これまでの取組みを踏まえ実現に向けて関与していきたい。

・医療計画

見直しについては、地域医療構想も含まれており、圏域で重点的に取り組むべき事項について選定したうえで多くの方々のご意見を伺いながら、より具体化を図っていく。

・介護保険事業計画と地域包括ケアシステム

医療計画で取り組む医療機関の機能分担や医療提供体制の整備については、基本的に慢性期の医療を中心として地域包括ケアシステムの構築における方向性と同様の取組み。市町が策定する介護保険計画と慢性期の医療提供体制を中心として両計画の内容とより整合性のあるものに策定していき必要な体制整備に結び付けたい。

○北上医師会長

出前講座について、北上市も保健所もやっているが連携が取られているのか

北上では医師会・歯科医師会・薬剤師会の取組みとして出前講座を考えている。その際、北上市の取組みに乗せてもらえれば考えていたが、保健所でもやっているならそちらにも利用させていただけるのか。

○阿部保健課長

保健所の出前講座は、企業にチラシを送ってそれを見て申し込んでもらうもの。内容についてはその都度企業側の要望を聞き講師を派遣している。

5 閉会（千葉次長）